

# 巴 杏

三次地区医師会報

No.184

令和7年11月発行



## 大阪万博西ゲート 地下鉄が止まった次の日

開園 30 分遅れ 8/14 10 時 22 分時点

日傘をさす人達の群れ、群れ、群れ

あつい♪ 暑いッ！♪ あちいー!!♪

松尾 洋一郎

## 目 次

写 真	.....	松尾洋一郎
<b>巻頭言</b>		
「くうでるうごく」でつなぐ地域の健康と未来		
..... 三次地区医師会 副会長 安信 祐治 … 2		
<b>特別寄稿</b>		
市政報告..... 三次市長 福岡 誠志 … 4		
<b>学術論文</b>		
心腎代謝関連へのアプローチ 最近の治療の進歩		
..... 市立三次中央病院 循環器内科医長 豊福 守 … 7		
<b>医師会長だより</b>		
病院経営について..... 三次地区医師会 会長 中西 敏夫 … 8		
<b>ロックだより</b>		
三次地区医師ゴルフ大会..... 佐々木 智 … 10		
<b>医師会行事</b>		
令和6年度 第13回一般社団法人三次地区医師会 定時総会		
..... 三次地区医師会 広報担当理事 栗本 清伸 … 12		
令和7年6月22日 第159回日本医師会 定例代議員会について		
..... 広島県医師会 議長／三次地区医師会 総務担当理事 鳴戸 謙嗣 … 16		
<b>東西南北</b>		
奥田元宋・小由女美術館への誘い		
..... 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 理事長 槙本 良二 … 19		
<b>随筆</b>		
トランプ後の世界②		
…分散型自律組織（DAO）の可能性 ..... 久行 敦士 … 22		
<b>私の趣味</b>		
イカ釣行記..... 三次こばやし眼科 小林 隆幸 … 24		
<b>ファックス伝言板</b>		
禁煙推進・受動喫煙防止 活動報告		
..... 禁煙推進委員 安藤 仁 … 27		
<b>会員紹介</b>		
..... 市立三次中央病院 二宮 昌彦 … 32		
..... 市立三次中央病院 宮野音沙也 … 33		
<b>会員異動</b> ..... 事務局 … 34		
<b>事業所現況報告</b> ..... 事務局 … 35		
<b>医師会日誌</b> ..... 事務局 … 36		
<b>編集後記</b> ..... 箕岡 康明 … 38		
写 真	.....	奥田元宋・小由女美術館

## 「くうでるうごく」でつなぐ 地域の健康と未来



三次地区医師会 副会長 安 信 祐 治

連日の猛暑により、体調管理が一層難しくなる季節となりました。医療・介護の現場においても、熱中症や慢性疾患の増悪など、対応に追われる日々が続いていることと存じます。会員の皆様には、地域の健康を支える要としてご尽力いただいていることに、心より敬意を表します。

さて、今回の巻頭言では、中山間地域における今後の医療と介護の在り方について考察したいと思います。高齢化が進む中、地域包括ケアシステムの構築は喫緊の課題であり、その中核を担う要素として、「食べる」「多様な人とのつながり」「運動／身体活動」の3つが重要であると考えます。これらを総称して、私たちは「くうでるうごく」と呼び、備北地域保健対策協議会においても健康寿命の延伸の合言葉として取り上げていただいています。

この「くうでるうごく」は、単なる生活習慣の改善ではなく、世代を超えて健康格差を是正し、地域の健康を支える処方箋となり得るものであります。

たとえば、学童期においては、遊びの中心がゲームへと移行し、家庭環境や地域資源の差が健康格差を生み出しています。働き世代

では、労働環境の厳しさに加え、ゆとり教育を受けた世代の価値観の変化が、職場での心理的ストレスを増加させています。子育てや介護の負担が重なる世代では、自身の健康管理が後回しになりがちであり、特に女性においてこの傾向が顕著です。

そして、高齢化率が高い中山間地域では、心不全を抱える高齢者が増加し、フレイルや認知症を合併するケースも多く見られます。自己管理が困難になる中で、軽度認知障害(MCI) レベルであれば、フレイル同様に「人とのつながり」や「運動」が予防的に働くことが知られており、「くうでるうごく」の実践が極めて有効です。

広島県三次市の2025年8月1日時点の総人口は47,437人であり、65歳以上の高齢者は37.2%を占めています。これは全国平均(29.1%)を大きく上回る水準であり、人口の2.7人に1人が高齢者という構造です。また、20～39歳の若年女性人口は総人口の7.7%にとどまり、全国平均(10.3%)よりも低い割合となっています。このような人口構成は、医療・介護の担い手不足と高齢者の支援ニーズの増加を同時に示唆しています。

三次市の地域福祉活動に関する研究では、

高齢者が家族からの支援を得にくい状況にあり、近隣者とのつながりが重要なサポート源となっていることが示されています。しかし、近隣者の高齢化や減少により、そのサポートも限界を迎えること、住民参加型の地域福祉活動が新たな支援の形として期待されています。

このような背景を踏まえると、「くうでるうごく」を地域包括ケアシステムに組み込むことは、地域の健康を守るために実践的かつ持続可能な戦略となるのではないでしょうか。人生100年時代を迎えた今、健康寿命の延伸を目指すには、医療・介護の枠を超えた地域ぐるみの取り組みが不可欠と考えます。

「くうでるうごく」の発信者として雑多な思いをしたためてみました。原稿執筆時は9月であるにもかかわらず猛暑日が続き、いつまで暑さが続くのかと新聞を賑やかしています。案外、健康寿命の延伸には気候対策が最重要課題だったりするかもしれません。会員の皆様には暑さ・寒さ対策にはくれぐれもご用心の上、健康にご配慮ください。



# 特別寄稿

## 市政報告



三次市長 福岡誠志

三次市長の福岡誠志です。三次地区医師会の会員の皆様には、市民の命と健康を守るという尊い使命のもと、日々の診療はもちろん、病気にからないための予防接種や感染症対策などの活動を通じて、三次市政に対して温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、令和5年に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に移行しましたが、最前線で市民の皆様の命を守るためにコロナと戦っていただいている医療従事者の皆様に、改めてお礼を申し上げます。

今後におきましても、コロナに代わる新たな感染症の出現の可能性や、全国各地で相次ぐ自然災害に対応する心構えと非常時対応を怠ることなく、新型コロナでの経験を生かし、市民の皆様の命と暮らしを守り抜く危機管理体制を整えることが重要と考えております。

「新しい価値の共創」というスローガンを掲げた令和5年4月の三次市長選挙で再度市民の皆様からの信任をいただいた2期目の任期も折り返しとなりました。未来につながるまちづくりに向けた基盤づくりに取り組んできた1期目に続き、より具体化するために様々な政策を加速させる取組を進めています。

今回は、安全安心な市民生活の基盤となる医療・福祉分野での政策について、ご紹介いたします。

三次市では市立三次中央病院、国保診療所5か所及び休日夜間急患センターを運営しております。

市立三次中央病院では、今春より国産手術支援ロボット「ヒノトリ」を広島県北で初めて導入し、患者への負担が少ない医療を提供する体制の充実を図りました。また、国保診療所では「みよしこども診療所」を令和5年5月開設し、診療3年目を迎えております。休日夜間急患センターでは、三次地区医師会の先生方に、新型コロナや冬場のインフルエンザに罹患した発熱患者等を多く診察していただいております。一次救急医療機関として市民の安全安心の暮らしづくりに大きく寄与していただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

そのような中、最も重要な課題に挙げるのは、市立三次中央病院の改築事業です。平成6年に新築移転して31年が経過しました。これまでに数回の増築・改修工事を実施しており、施設の狭隘化や今後の施設・設備の老朽化への対応、院内動線の改善、高度医療機

能等への対応が必要となっています。高度で安全安心な医療を提供するため、改築に向けた準備を進めていましたことは、既にご承知いただいているかと思います。

これまで、自治体病院として健全運営を続けてまいりましたが、2024年度決算では、医業収益の減少と人件費上昇の影響により、市町村合併後初の赤字決算となりました。このため、病院改築事業については、基本設計が完成している現時点で一旦立ち止まり、今後の病院経営の動向を注視しながら再開の時期を慎重に判断することといたしました。

三次地区医師会の皆様には、病院改築事業にあたり貴重なご意見やご提言をいただき、大きな期待を寄せていただいていることは重々承知しております。

現在、収益を確保するための改善策について、検討を進めています。しかし、昨今の社会経済情勢や医療保険制度において、一病院としてできることには限界があります。現在の診療報酬は急激な物価高騰に対応したものではなく、実際に全国の国立病院や自治体立病院の多くが赤字経営となり、建物や医療機器の更新に支障が出ているという現状もございます。

引き続き、経営改善に向けた取組を進めるとともに、全国市長会や全国自治体病院開設者協議会など、同様の状況に置かれている他

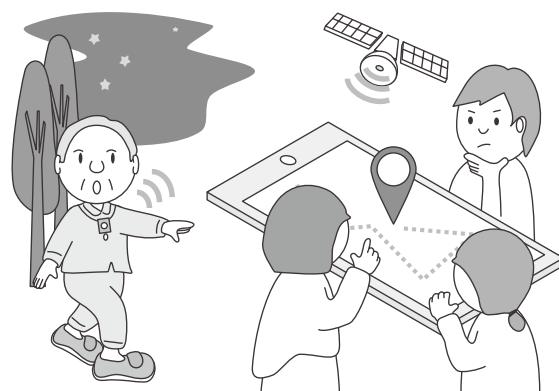
自治体との連携を図ってまいります。また、厚生労働省の追加正深医務技監などとも、診療報酬の引き上げや、緊急的財政支援、地方交付税措置の拡充及び病院事業債の交付税措置の対象建築単価の引き上げなどについて意見交換等を行ってまいりましたが、今後も国に必要な措置を講じるよう強く求めてまいります。

次に、福祉の分野についてですが、令和7年8月末で三次市の高齢者比率が37.2%となりました。健康寿命を延ばし、1日でも長く住み慣れた地域で生きがいを持って生活していただけるよう、高齢者サロンの充実や理学療法士、保健師、健康運動指導士、管理栄養士、歯科衛生士など市の専門職が民間の専門職の皆さんとも連携しながら、介護予防・生活習慣病予防事業に力を入れています。

一方、残念ながら認知症に罹患した方の行方不明事案も本市では発生しています。行方不明時の早期発見・保護および事故防止を目的に、大切な家族を24時間見守る・探し出せる「三次市高齢者等位置情報提供ツール導入事業」の実証実験を始めました。

これは、認知症などの症状により行方不明になる恐れのある高齢者等を在宅で介護する方や家族にGPS端末を貸与し、ICTを活用した見守りサービスを提供するものです。

この他にも、ICT技術の導入は今後の三次



市のまちづくりにおいて重要な役割を果たすと考えており、様々な分野で積極的にICTを導入していきます。

少子高齢化と人口減少に直面している三次市にとって、難しい課題にチャレンジする場面が多くある中で、厳しい現実をお話しせざるを得ないことも多いですが、明るい話題もご紹介いたします。

三良坂町出身の明治大学で活躍した宗山塁内野手が、昨年のプロ野球ドラフト会議で東北楽天ゴールデンイーグルスに1位指名され、入団しました。シーズン当初から攻守にわたり活躍し、オールスターにも選出され、9月には三次市の観光大使に就任いただきました。早速、ピオーネや三次の銘菓をご紹介いただき、話題となっています。三次市出身の先輩プロ野球選手に続く活躍を期待しています。

最後に、教育環境の魅力化への取組やJR芸備線再構築協議会への参加など、持続可能な地域社会の実現に向け取り組んでいますが、2期目の任期の折り返しとなり、時の流れがより一層速く感じられます。

様々な政策を着実かつスピーディーに実行し、成果があらわれるまちづくりとなるよう、残る任期も尽力してまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、市政報告といたします。



# 学術論文

## 心腎代謝関連へのアプローチ 最近の治療の進歩

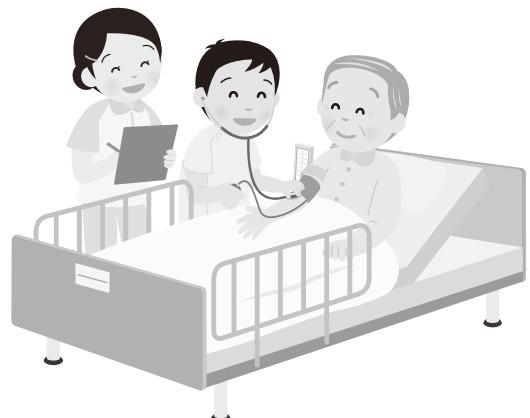
市立三次中央病院 循環器内科医長 豊 福 守

心不全は、高齢化とともに発症率が増加するため、最近の統計から生涯で心不全の発症機会は4人に1人とされている。

心不全は、左室収縮の低下した心不全と、左室収縮が保たれた心不全に分類され、両者は異なる病態を呈する。左室収縮の低下した心不全への薬物療法は、レニンアンジオテンシン系阻害薬〔ACE阻害薬もしくはARB〕、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)、 $\beta$ ブロッカー、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)、そして、ナトリウム・グルコース共役輸送体2(SGLT2)阻害薬の使用が予後改善のために推奨されている。一方、左室収縮が保たれた心不全への薬物療法で有効性が示されているのは、SGLT2阻害薬のみである。

最近、心血管-腎臓-代謝症候群(CKM症候群)という肥満、糖尿病、慢性腎疾患(CKD)、心血管疾患(CVD)間の病理学的相互作用によって引き起こされる全身性疾患概念が提唱されている。腎臓病や代謝疾患は、心血管病の強いリスク因子であることから、これらリスク状態から心疾患予防を念頭に置いた薬物療法が推奨されつつある。そのなかで、SGLT2阻害薬は、CKM症候群において、

心不全の入院リスクを減少し、心血管事故を低下させ、また、腎機能を保護し、腎不全の進行を抑制する効果が過去の臨床データから期待されている。



## 医師会長だより

### 病院経営について



三次地区医師会 会長 中 西 敏 夫

今回は、診療報酬改定と医療機関、特に病院経営についてです。

先日、三次中央病院の決算報告が中国新聞に大きく報じられました。「赤字 7 億円、市町村合併後で初」と。自治体病院の収支報告は地元議会で報告され、個々の病院名で新聞報道されます。広島県下でも県立広島病院をはじめ、広島市民病院、福山市民病院など大規模病院も赤字決算となっています。

赤字の要因としては物価上昇や人件費の高騰ですが、自治体病院では人事院勧告による賃上げに診療報酬がカバーできていない状況で、自治体病院全体で約 9 割が令和 6 年度決算で赤字と言われています。令和 7 年度は診療報酬の改定はありませんから、何らかの補正予算等の財政措置が講じられなければ、本年度の決算見込みは厳しいものとなります。個々の病院の収支については言及しませんが、このような新聞報道をみると必死で働いている現場の職員はやりきれない気持ちになるのではないでしょうか。

来年度の診療報酬改定については、従来の方針を改め「高齢化による増加分に相当する伸びに、経済・物価動向などを踏まえた対応に相当する増加分を加算」と石破内閣で盛り

込まれました。

令和 8 年度の診療報酬改定論議は始まったばかりですが、「医療機関の経営」状況

○物価・人件費の高騰により、医療機関、とりわけ病院のコストが上昇し経営状況が厳しくなっている

○人件費高騰は「人員配置の増加」「給与費の引き上げ」の両側面から生じているが、給与費は上昇しているにもかかわらず、全産業平均には及んでいない

○地域医療構想の実現(急性期病院の集約化、病院機能の分化・連携の強化)が求められるが、建築コストが増加している

ことなどを踏まえた議論が重ねられています。「医療機関経営の維持」と「現役世代の負担増抑制」とのバランスを、どのあたりでとるべきなのか、政局がらみで医療機関側の望む方向になるか微妙な状態です。

ただもう来年の診療報酬改定までは待っておれないと各方面から声が上がっています。

全国 42 国立大学の 44 付属病院の病院長による国立大学病院長会議は 7 月の会見で、24 年度決算で過去最大の 285 億円の赤字になったと報告しました。主要 6 病院団体は 9 月 10 日には、厚生労働省に支援を求める

緊急要望書を提出。「25年度補正予算で緊急に病院への支援策を講ずること。26年度診療報酬改定率は10%超が必要」と求め、会見でも「経営状況は非常に悪く、もう限界」「危機が迫っている」などと訴えました。また11日にも、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会が厚労省に迅速な補正予算の編成を要望しました。

原稿執筆中、自民党の総裁選が始まりました。ただ自民党は衆参議院で過半数割れの状態ですから、物価高に苦しんでいる国民の声をどのように拾い上げ政策を実施するのか不透明です。診療報酬の引き上げは現役世代の負担増になることは間違ひありませんから。

『巴杏』が発行される時期には自民党の総裁が選出され、野党との連立政権を視野に入れた国会審議が始まります。見守るしかない現状ですが、よい方向に進むことを祈っています。



## 三次地区医師ゴルフ大会



佐々木 智

令和7年5月18日、リージャスクリレストゴルフクラブグランドコースで三次地区医師ゴルフ大会が開催されましたので、報告いたします。

前日まで雨で天候が心配されましたが、当日は幸い雨も上がり、日差しもそれほど強くなく、過ごしやすい天候の中で開催されました。

この大会は、備北地域の開業医と市立三次中央病院などの病院勤務医の親睦を深めるために行われており、春と秋の年2回開催されます。今回は開業医7名、病院勤務医6名、合計13名の参加でした。

備北地域では開業医の高齢化が問題となっていますが、ゴルフ人口もそれが反映されており、今回参加の開業医の半数は75歳以上で、50歳以下はありませんでした。私の所属する北備医師ゴルフ同好会でも、私が加入して20年経過してアラ還となりましたが、いまだに会の中では若手（？）の扱いです。新たな先生の参加を待望しております。（この大会の後で中西敏夫医師会長、市立三次中央病院の丸山聰副院長、庄原市医師会の藤野豊寿先生に新たにご加入いただきました。大歓迎いたします。）

大会の結果については、優勝は伊藤雅啓先生でしたが、準優勝は勝田圭貴先生、3位に下薗広行先生と、市立三次中央病院の若手の先生方2名が上位に入賞されました。これをきっかけに是非次回も参加していただきたいと思います。



# 令和6年度 第13回一般社団法人三次地区医師会 定時総会



三次地区医師会 広報担当理事 栗 本 清 伸

令和6年度 第13回一般社団法人三次地区医師会の定時総会が、令和7年6月4日(水)19時より、三次グランドホテルで開催されましたのでご報告いたします。

まず、総会に先立ち、山田博隆議長が出欠者・委任状の確認を行い、総会の成立を宣言されました。

新入会員の紹介では、山田議長が令和7年5月1日に三次市十日市中で「三次せの泌尿器科」を新規開業された瀬野康之先生を紹介され、瀬野先生から新規開業のご挨拶を賜りました。また、令和7年4月より、三和町の津島医院に勤務されている津島健先生より、新規入会のご挨拶を賜りました。



瀬野康之先生

次に、山田議長の指名により、中西敏夫会長が以下の内容の挨拶をされました。

「本日は診療の後でお疲れのところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

日本医師会は、これまで紙媒体で行っていた会員管理を電子化し、新たに会員情報システム『MAMIS』を導入しました。パスワードなどの設定が必要になりますので、会員の皆様も、是非一度、ご登録いただくようお願いいたします。

本日は令和6年度の決算報告、令和7年度の予算報告のほか、役員改選が議題となっています。医療センターは昨年4月に3階病床を休診し、老健あさぎりも入所者数の減少な



津島健先生



中西敏夫会長の挨拶

ど、問題が山積しています。安信病院長を中心に検討委員会を立ち上げて、来年6月の総会までに方向性を検討するようお願いをしています。

本日はお疲れのところ誠に恐縮ですが、ご審議について、何卒、よろしくお願ひ申し上げます。」

総会はその後、上程された令和6年度決算報告の審議に移りました。

まず、鳴戸謙嗣総務担当理事より、令和6年度の事業報告がありました。三次地区の人口減少がますます加速する中、医師会事業も大きな岐路に立たされ、4月には医療セン



安信祐治理事

ター3階病棟の休床となったほか、老健あさぎりも入所者数が伸び悩むなど、医師会事業の非常に厳しい経営状況が報告されました。

そんな中、佐々木智先生が、警察協力医としての長年にわたる功績が評価され、広島県警本部長から感謝状が贈呈されたことが報告されました。医師会として心よりお祝い申し上げます。

そのほか、各事業の担当理事による説明があり、山田議長が議場に誂ったところ、いずれの議案も賛成多数で承認されました。

令和7年度予算の報告の後、総会は任期満了に伴う役員等改選についての審議に移り、審議の結果、総会は理事15名、監事3名及



総会の様子

びその他の委員等を選任しました。厳しい社会情勢の中、会長以下、役員は全員留任となり、引き続き一丸となって地域医療の維持発展に努めることとなりました。

その他の詳細は以下の通りとなっています。

#### 【一般社団法人三次地区医師会】

会長 中西 敏夫

副会長 岡崎 哲和 安信 祐治

専務理事 鳴戸 謙嗣

理事 重信 和也 中村 英典

永澤 昌 小根森 元

立本 直邦 今井 徹

栗本 清伸 三浦 誠司

伊藤 雅啓 佐々木 智

織田 雅也

監事 星田 昌吾 岩崎 光彦

大倉美知男

会長の中西敏夫先生より、新役員を代表して挨拶がありました。

「今回の役員改選では、理事、監事のほか、各委員の皆様には留任をお願いしたところ、ご快諾いただきました。誠にありがとうございます。

建設費の高騰などで中断している市立三次中央病院の新設移転計画は、今後の備北圏域の医療を考える上で重要な課題です。広島駅北口の二葉の里に建設が予定されている県立の新病院も、やはり当初の設計案の見直しをするようです。市立三次中央病院は、このたび立本直邦先生が新病院長として着任されました。医師会としても新設移転計画に取り組まれる立本病院長を支えていかなければならぬと考えています。

今日は長時間のご審議ありがとうございました。簡単ですが、挨拶とさせていただきます。」

山田議長は20時15分に総会の終了を宣言しました。

総会終了後、隣室に移動し、役員の先生方をはじめ、瀬野康之先生、津島健先生を囲んでの懇親会となりました。開業医の高齢化が地域医療の深刻な課題となっている中で、若い先生方を医師会にお迎えすることができ、大変嬉しく、また頼もしく感じました。地域医療を取り巻く環境は厳しく、医師会事業は大変困難な状況にありますが、医師会一丸となって頑張っていきたいと思います。

これからも三次地区医師会をよろしくお願ひいたします。



懇親会の様子



大谷先生 乾杯のご発声



集合写真

# 令和7年6月22日 第159回日本医師会 定例代議員会について



広島県医師会 議長  
三次地区医師会 総務担当理事 鳴 戸 謙 嗣

令和7年6月22日（日）、日本医師会館において第159回日本医師会定例代議員会が開催され、中四国ブロックの代表質問をして参りました。

## 題名 人口減少社会に入った今、日本医師会（以下日医）が為すべきことは何か？

先頃、AIが東大理Ⅲの入試問題で合格圏に達したとか、AI医師の初診正解率が7割を超えたという報道がありました。AIの進歩は目覚ましく冒頭の質問をチャットGPTに聞くとわずか1秒で答えてくれます。

医療資源の偏在、医師の過重労働、高齢者医療の逼迫などを挙げて日医は医療提供体制の持続可能性を守りながら地域住民の命と生活を支えるための強いビジョンと実行力が求められている。日医は国、自治体、地域住民、医療従事者の橋渡し役としてリーダーシップを發揮しなければならない、と説きます。

その方策も答えますが、いずれも総花的で誰が考えても当然という項目が並びます。流石の合成評論家で、何も生成していません。

分かっているのに何故できないのか？

人口減少は30年前から予測されていた事です。

私は全国で2番目に無医地区の多い広島県の県北から来ました。広島から東京へと移動すると、人口密度の違いを目の当たりにします。若い人ばかりで全く違う世界です。

こんなに地域間格差が拡大しているのに全国一律の医療制度が成立するのか、と思ってしまいます。

我が医療圏では、乏しい医療資源を連携によって効率化するために、地域医療連携推進法人を全国で最初に設立し、基幹病院は地域医療構想と地域包括ケアシステムの中核として活動し、断れない救急医療体制が構築されています。また、無医地区には巡回診療車を出しています。

協力機関の開業医も高齢化し継承困難のため、勤務医の協力がなければ、学校医などの医師会活動もできません。これは全国の中山間地域共通の問題だと考えております。

現場から声を上げても少数意見は届きにくいため、都市部の先生方のご理解とご協力が必要です。

しかしながら、今の日医が素晴らしい提言をしても国や国民に届きません。

日医の組織率52%では医師を代表する団体とは言い難いと思われています。また、コ

口ナ禍で頑張って国民の評価が上がったのに、昨年の衆議院選挙で、ある政党が企業団体献金を批判した時、最初に名指しされたのが日医でした。

日医は「欲張り村の村長さん」の集団であるという認識です。国民の支持がなければ何も進みません。

これまで日医におかれましては、医師の団体の在り方検討委員会を設置され、医師の偏在問題を検討する中で、行政から独立した、医師全員が加盟する団体が必要との報告書を取りまとめられるとともに、医師会組織強化検討委員会を設置し協議されるなど、加入率を上げるため様々な試みをされておりましたが、勤務医の理解が得られておりません。

戦前は勤務医を含む医師会への強制加入制度がありました。

戦後はGHQの指示で任意加入となり、開業医を中心とした業界団体となりました。

1961年には国民皆保険制度を達成し、診療報酬も出来高払いの乙表が中心になりましたが、近年では診療報酬で医療制度を誘導す

る事が公然と行われており、医療現場は振り回されています。

組織率を上げるための一案です。

社会保険で診療するためには保険医にならざるを得ません。申請は任意なので保険医資格を得るために医師会（日医）への加入が必要であるという規約があれば、加入率は100%近くになります。

会費はA・B・C会員別で良いと考えますが、加入率が上がれば会費を下げられ相乗効果があると思います。

当然、国（厚生労働省）との交渉になりますが、日医が率先して医療制度を再構築するリーダーになるべきです。



## 【質問事項】

1. 「保険医資格の要件として、日医への入会が必要である。」という法整備に向けて働きかけるお考えはありますか。

以上、松本会長から回答していただけたらと思います。

なお、質問2として「欲張り村の村長さんを辞めます宣言」をされるお気持ちはありませんか」と書きましたが、衆議院議員選挙の直前であったため削除されました。

答弁は、今村常任理事から、過去の検討から日医入会を保険医資格の要件とする事や強制加入の団体とする事は医師会の自由度が減り、国の管理が増大しかねない事から得策ではない、との事でした。

松本会長は、この質問を3大重要質問の一つとされ、日医への叱咤激励と受け止めていただきました。

松本会長とは2回直接お話をした事があり、会長には伝わっているなと感じました。

## 再質問で

答えにくい質問にもかかわらず丁寧なご回答ありがとうございます。

地方の医療崩壊は既に始まっています。医療のない所では人は住めません。世界に冠たる日本の医療を守るのが日医の役割だと思います。医師を代表する組織は日医しかないと信じております。

日医がリーダーになるために必要なのは、組織率を上げる事と国民の信頼を得る事の2つだと考えます。国民世論が味方になれば政治も動かざるを得ません。もっと広報にお金を使って頂きたいと思います。

日本の医療が危機にある今、ピンチをチャンスに変えて欲しいという思いから松本会長

にエールを送らせて頂きました。

と発言して終了しました。

しかし、しかし、地元の反応は良かったにもかかわらず、後日ネットサーチしてみると、否定的なコメントが多く、都会の先生方に理解して頂くのは道遠しと感じました。

## <追記>

松村誠広島県医師会会長（日本医師会理事）が眼科学会の専門医取得に、眼科医会への入会が必要であることに着目され、令和7年8月19日の第5回日医理事会で、各医学会の専門医取得の要件に、各医会と日医への入会を加えてはどうかという提案をされたとの報告があり、ささやかな期待を抱いたところです。



# 奥田元宋・小由女美術館への 誘い



公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 理事長 槙 本 良 二

## 1. はじめに

はじめまして。私は、今年6月末に黒瀬真一郎前理事長の後を引き継ぎ奥田元宋・小由女美術館の理事長に就任いたしました槙本良二と申します。この度、私の中学時代の同級生である市立三次中央病院病院長の立本直邦先生からのご依頼を受け、美術館の紹介、私が理事長に就任した経緯、私自身の自己紹介などにつき、ペンを執らせていただくこととしました。

\*\*立本先生とは広島大学附属中学1年時

のクラスメイト。野球部に所属し、彼は4番キャッチャー、そしてキャプテンという、堂々たるチームの中心選手。私は1番センターでしたが、ピッチャーも一時やらせてもらい、彼とバッテリーを組んだこともございました。弱小チームからのスタートでしたが、中学3年夏には広島市の大会で3位までなり、野球に青春の汗を共に流した間柄です。

## 2. 奥田元宋・小由女美術館について

奥田元宋・小由女美術館は、2006年4月にこの三次の地に「日本で一番月が美しく見える美術館」をテーマ（美術館前の池に満月

が映り込む景色は絶品）に、元宋・小由女先生の作品を収容した誇り高い美の殿堂・芸術文化振興の拠点として誕生いたしました。

奥田元宋先生は、1912年双三郡八幡村（現在の三次市吉舎町）で誕生。日彰館中学（現日彰館高校）卒業の後、同郷の日本画家・児玉希望先生に師事し、本格的な画家生活に入られました。





待月



月の別れ

自然の中に身を置いて、風景との対話を重ねながら、四季折々の自然の姿を時には静かに、時には荒々しく表現され、その色調は日本画家の大家東山魁夷先生と対比され、「青の東山魁夷、赤の奥田元宋」といわれるまでになりました。1977年に日展理事長に就任され日本の美術界をリード。1984年に文化勲章を受章され、1989年には広島県名誉県民という名誉に浴され、2003年に90歳でお亡くなりになりました。1949年に故郷、馬洗川とその背後の山から昇る月を描いた「待月」で日展特選を受賞されたことが、その後の大きいなる飛躍のきっかけとなりました。

奥田小由女先生は、1936年大阪府堺市で誕生されましたが、3歳の時に双三郡吉舎町に移り、元宋先生と同様に日彰館高校を卒業。その後人形創作に取り組み、初期は白を基調とした抽象的な造形表現を試みておられましたが、元宋先生と結婚後は色彩豊かな女性像の作品が中心となっていきます。自然との共生や母子の情愛などをテーマに、華やかで安らぎに満ちた作品は、私たちの心に染みこ

んできます。2008年に文化功労者となられ、2014年には日展理事長に就任。そして2020年には文化勲章を受章（日本で初めて夫婦で文化勲章受章）。元宋先生と同様に日本の美術界をけん引されています。また同年、広島県名誉県民に選ばれ、現在も活躍中であります。

### 3. 私が理事長になった経緯

私と元宋先生の絵との出会いは、1990年日本橋高島屋で開催された「風景画三代の系譜 玉堂・希望・元宋展」でした。赤を基調とした先生の荒々しいまでの山々の絵を観て非常に感銘を受け、以降元宋先生の絵にすっかり魅了されました。その後2008年に同じく東京高島屋で開催された「愛の飛翔 奥田小由女展」で、優しく繊細な人形を観させていただき、心に染みこむような感動を覚えましたのが、元宋・小由女先生の作品との出会いであります。

そして、私が2011年に広島の企業に就職した後に、前理事長の黒瀬真一郎先生との知

己を得、美術館を何度も訪ね、また公私にわたりご指導を頂く中で、ご自身の後任は私にとの話を周囲にされていたとのことで、全く門外漢ですが、この職を引き受けることになった次第であります。

#### 4. 奥田元宋・小由女美術館の応援団長として

私は 1960 年広島市安佐北区白木町（旧高田郡）に生まれ、前述の通り、広島大学附属中・高等学校を卒業し、東京大学に進みました。その在学中に応援部に所属し、4 年時には団長として母校の勝利のために、青春を捧げました。社会人になった後も（東京海上、ネットトヨタ中国社長、現お好み焼みっちゃん総本店会長）、各種式典パーティー、選挙、結婚式などで 1,000 回以上、人を励ますエールを行ってまいりました。

今後は、三次が日本に誇るべき奥田元宋・小由女美術館の応援団長として、広く皆様にこの美術館の素晴らしさを知っていただくことに努め、多くの方々にご来館いただき、感動いただけるよう、微力ながら頑張っていきたいと思っております。

皆様、どうぞご支援いただき、日本一の美術館にするべく、共に奥田元宋・小由女美術館を盛り上げて頂きますよう、お願い申し上げます。

\* \*先生の皆様も、法人会員あるいは個人会員にご加入頂ければ幸いでございます。

お申込みはこちらからお願いいたします。  
<https://www.genso-sayume.jp/support-member/>



## トランプ後の世界② …分散型自律組織(DAO)の 可能性



久 行 敦 士

今回は、前回予告した通り、世界の格差・対立の構造を変えていく手段について述べたい。

ひとつ趣向を変えて、そのテーマについてのChatGPTとのやりとりをまず紹介してみよう。

私) 権力者を含めたゲーム構造を変えるのに日本ではどのような方法が有効か？

ChatGPT の回答)

①システム設計による制約（本命）

- 例：政治資金透明化、選挙制度見直し、企業のガバナンス強化
- →「透明性の強化」や「情報公開」を制度化することで、裏で動く権力の力を自然に弱める。
- 日本人はルールを尊重する傾向があるので、個人の善意より、制度整備が先に立つ方が成功しやすい。

②テクノロジーによる分散化（急成長中）

- 例：クラウドファンディング、DAO（分散型組織）、ブロックチェーン投票
- →中央政府・大企業に頼らないで、個人・

小集団単位で経済活動や意思決定を可能にする。

- ネットリテラシーが世代を超えて向上しているので、今後さらに影響力が増す。
- ③取引方アプローチ（現実的な折衷案）
  - 例：再生可能エネルギー推進で既存エネルギー企業にも参入の道を作る。地方創生に大企業が参加する枠を作る。
  - →権力者層に「改革しても損しない」どころか「新しいビジネスチャンスになる」と見せると、協力を引き出せる。
  - 日本の既得権層は「安定志向」なので、全面否定せずに「未来志向の安定」を示すのが有効。
- ④庶民の交渉力強化（下支え）
  - 例：地方自治体選挙の活性化、SNSによる情報拡散、市民運動の可視化
  - →革命ではなく、「ボトムアップでじわじわ変えていく」方針。
  - 若者・シニア層両方の意識改革がカギ。（特に若者の政治参加が超重要）

ここで DAO というシステムの名称が出現した。これは民衆の立場では今後大きな働きをもつ可能性があると考えたため、今回はこ

のシステムを紹介したい。

DAO は Decentralized Autonomous Organization の略で、分散型自律組織と訳されている。以下に特徴を述べる。

- ・この組織では、中央集権的なトップは不在であり、すべてが構成員の投票によって決めたルールで運営される。
- ・構成員は公平に発議、投票を行うことができる。(貢献度で傾斜配分はされる)
- ・システム内容はすべてブロックチェーンで保護される。(ブロックチェーンについてはあとで述べる)
- ・すべてのルールは透明であり、改ざんできない。
- ・誰でも自由に参加、脱退できる。
- ・インターネット上で運営される組織であり、国家をまたいで参加することができる。

ブロックチェーンとは暗号を含んだ記録方式であり、ビットコインでも用いられることが知られているが、ご存じない方のために、かいつまんで記載する。(私もさほど詳しいわけではない)

#### • 分散型台帳

世界中の多くのコンピュータに同じデータをコピーして保存する仕組み。中央管理者(銀行や企業)がいなくとも成り立つ。

#### • チェーン構造

データは「ブロック」という単位でまとめられ、時系列に「鎖(チェーン)」のようにつながっている。

#### • 改ざんが難しい

1つのブロックを変えるには、その後ろの全ブロックを直す必要があり、さらに多数のコンピュータの合意も必要。これにより高い信頼性がある。

#### • 透明性

誰でも取引履歴を確認できる(公開型の場

合)。不正や隠ぺいが起こりにくい。

#### • 合意形成(コンセンサス)

取引が正しいかどうかは、多数の参加者がルールに従って確認し、合意によって記録される。

#### • 中央機関不要

銀行や政府といった管理者なしに、安全に取引や記録を行える。

#### • 応用分野

仮想通貨(ビットコインなど)だけでなく、サプライチェーン管理、電子投票、契約(スマートコントラクト)など幅広い用途がある。

さて DAO であるが、概念は有用であるが、いくつか問題が考えられる。

#### ・ 意思決定が遅くならないか

・ 国家により妨害される場合があるので

・ お金を持つ者がメンバーを買収し、結局資本主義の悪い部分が出現しないか

など

それに対する結論としては、完全ではないにしろ問題点に耐えうる部分も大きいと考える。

理由1) 直接性でネット環境で意思決定されるので、期限を設ければ速やかに民意が反映される。

理由2) この組織が巨大になれば、国家及び占有資本の存在・影響力が相対的に縮小する。

DAO の現時点での普及状況であるが、学術分野など限られた領域で採用されているのみで、一般社会的には全く普及していないようである。しかし新しい秩序の可能性として、思考実験にとどまる恐れもあるにしろ、今後検討の余地があると考える。



## イカ釣行記



三次こばやし眼科 小林 隆幸

2023年にフレスピオ三次プラザで開院させていただきました三次こばやし眼科・小林隆幸と申します。開院してもうすぐ2年になり、少しは落ち着いた診療ができるようになってきましたが、まだまだ分からぬことだらけで、いろんな先生方にお世話になる毎日です。この度『巴杏』への投稿の依頼があり、「なんでもいいので…」とのことでしたので、思案した結果、私の趣味について書かせていただくこととしました。

学生の頃に長いことソフトテニスをしていたので、卒業した後もしばらくソフトテニスを後輩たちと、硬式テニスを勤務先の病院でテニス部に所属させていただき続けていましたが、年とともにあまり体も動かなくなってきたことに加えて、テニスの試合中に無理をしたのかひざを痛めてしまい、半月板損傷と診断され県病院で手術を受けることになりました。普通の生活はできるようになりましたが、機会が減ったことも加えて、徐々にテニスから遠ざかっていました。しばらく趣味もなく過ごしていましたが、市立三次中央病院勤務時に三次地区医師会の釣り同好会へのお誘いがあり、2回ほど参加させていただき、小学生のころ毎日のように釣りをして遊んで

いたころを思い出し、夢中に釣りを楽しんだことで釣りへの情熱に火が付きました。残念ながらその後すぐに広島に異動となり、同会への参加ができなくなりましたが、広島で眼科医の釣り好きが集まって定期的に釣りをしていて、たまたま参加した会で私もその集まりに呼んでいただき、本格的に釣りを趣味として始めることになりました。

タイラバでタイを釣ったり、ジギングでハマチ・サワラを釣ったりと、これまでと全くターゲットが違って毎回大興奮で、どっぷりはまっていたのですが、ある時、アオリイカをターゲットとする“ティップラン”という釣りに出会いました。最初は何をしているか全くわからなかったのですが、「エギ」と呼ばれる疑似餌を巧みに動かして、まるで生きた小魚のように見せてイカの興味をひき、そのエギについたカンナと呼ばれる無数の針に引っ掛ける釣りになります。その奥深さについては、話すと『巴杏』の編集委員の先生に怒られてしまうほど長くなるので省略しますが、4年目になりますが、まだまだ初級から抜け出せません。イカ釣りはゲーム性が高く、イカとの駆け引きに勝って釣り上げられた時の興奮は中毒性があります。また、同じ

イカでも、イカの女王と呼ばれるケンサキイカをターゲットとした“イカメタルゲーム”や“オモリグゲーム”という、これまた「エギ」や「スッテ」と呼ばれる疑似餌でイカをだまして釣る釣りがありますが、主に日本海（山陰）で盛んです。とても興味を引いたのですが、初心者の状態でどう始めていいかわからぬので、二の足を踏んでいたところでした。そこでこの度、念願のケンサキイカを釣りに行く機会を頂いたので、その感動を以下にお伝えさせていただくこととしました（前置きが長くてすみません）。

事の発端は8/21に久々に開催されたという十日市会です。先日入会して初めて参加させていただいたということもあり、自己紹介をしましたが、そこで趣味が「釣り」であることを話しましたところ、松尾先生（松尾整形外科）も釣りをされると聞き、話が盛り上がりって会が終了しました。その後、松尾先生から須澤先生（すぎわ小児科）にそのお話を聞いていただいたところ、「来週の土曜日に山陰でイカを釣りに行くんだけどどう？」とすぐにお誘いいただいたのです。夢にまで見た山陰のイカ釣りだけに、スケジュールもはっきりしませんでしたが、「ぜひお願ひします！」とお返事をさせていただきました。まあ、結局のところ特に予定もなかったので、あとは抜かりなく準備を整えることに全力を注ぎました。釣り人にとっては、この準備をしている時間も幸せなひと時であり、釣れている状態のイメトレをしながら、当日を指折り数えて待っており、当日なんてのは頭は半分海のほうに行っているので仕事が手につかず…よろしくないです。

ついに当日がやってきました！土曜午前の診療を早々に終わらせ、着替えて三次を出發し、しばらく車を走らせ出港する温泉津港に到着しました。港で今回の『巴杏』への投稿



日暮れ前に最初の1杯を釣りました

の許可をいたしましたので集合写真を撮らせていただきました（須澤先生・松尾先生・松尾整形外科のスタッフの皆さんと筆者）。出港してしばらく船を走らせ、日暮れ前についに釣りがスタートしました。イカは夜行性であり、明るいうちはなかなか難しい…とのことだったのですが、ビギナーズラックなのか、いきなり強い引きがあり、日暮れ前に最初の1杯を釣らせていただきました。この瞬間は何にもかえがたい興奮と幸福感があり、つい夢中になっていきます。暗くなるとあちこちでイカがヒットして入れ食い状態となり、漁師かのように大量にイカを釣り上げることができたのです。こんなに釣ってしまってはイカがいなくなってしまうのでは…と心配になるくらいですが、大丈夫なんだそうです。暑さとリールを巻く動作による疲労により時々休みながらでしたが、最終的には80杯も釣ることができました。人生でこれほど

の釣果を経験したことがなかったので、驚きとうれしさで大興奮の一晩となりました。イカは釣って楽しい、そして食べておいしい（さらに調理しやすい）ので、自分の中で大好きな釣り best 1 です！釣ったイカに関しては親戚・御近所の方々におすそ分けし、大変喜ばれました。少し疲れましたが、終始満足のイカ釣行でした。

このような貴重な機会を与えていただいた須澤先生、松尾先生、そして日本海に大感謝



須澤先生、お誘いいただき  
ありがとうございます

です！釣りやイカに興味がない方にとっては長々とどうでもよい内容となってしましましたが、これを読んで少しでも興味を持っていただければありがたいです。

開業してまだ2年弱の若輩者ですが、医師会の先生方にはいろいろと教えていただいており、とても感謝しています。今後ともご指導のほどよろしくお願ひいたします。



松尾先生もご覧の笑顔



集合写真

# ハウス伝言板

## 禁煙推進・ 受動喫煙防止 活動報告 2025.6.～2025.9.

禁煙推進委員  
元あんどう眼科院長

安藤 仁



今年は、ダチュラ（チョウセンアサガオ）の株が大きく立派に育ちました。

9月14日にも40輪ほどの花を咲かしてくれました。夕方咲き出して午前中にはしほんでしまう一日花です。

8月12日（火）三次市立三次小学校の落成式が10時より行われました。多くの来賓や関係者の人々が来られていました。眼科検診をしていましたのでお招きいただきました。平日に来られるのも仕事を止めているおかげです。早めに校舎に入ると、ゆっくり見て回ることが出来



ホテルみたいな外観と、  
三次どんちゃんと祝う小学生

ました。中央に階段が2階へ3階へと続いています。駆け下りたら止まらなくなりそうと一緒にの人と心配し合いました。エレベーターもあります、給食配膳用とは別に。2階の中央には、落成式場になっているこの場所が図書室になるそうです。学校の中心が図書室なので、学びが活発になりそうで素晴らしい。各教室の境も、開いたり閉じたりして使い勝手を良くすると、学年を超えた交流を考えているそうですが、どうされるのが楽しみです。

新しい三次小学校が、三次の小学校教育の先駆者になります。先生を始め教育関係者と地域の応援者と保護者の皆さんなどで児童の成長をサポートていきましょう。楽しみになります。

9月17日（水）車から見たらクレーンの腕が高く伸びて見えていました。三次小学校の校庭の中にありました。1年半の間を勉強してきたプレハブ校舎の解体作業の始まりでした。まだ校庭を使うのはお預けですね。最後まで安全第一でお願いします。





8月のお盆の時、三次町本通りの歴史民俗資料館・寿三郎人形館を見てきました。企画展「終戦80年三次の子どもたちにあったこと」原爆の子の像のモデルになった佐々木禎子さん

さんが被爆後に母の郷里の三次で1年半過ごされたことや、被爆直後8月9日に路面電車を走らせた女学生の一人が粟屋出身の人だったなどを知りました。勉強になりました。ぜひ寿三郎さんの人形も待っていますのでご覧ください。

奥田元宋・小由女美術館で中国新聞社主催の「棟方志功展」内覧会が9月11日(木)午後になり、多くの作品を見させてもらいました。没後50年たっても大胆かつ精緻な構図や出来栄えに魅了されました。11月5日(水)までです。ぜひご覧ください。



ここは、どこで  
しょうか？コン  
サートホール。  
広島文化学園ホー  
ル（旧厚生年金  
ホール）です。

9月9日(火)

パンのアンデルセンの創業者の奥さまの高木彬子さんを偲ぶメモリアル音楽会「パンの香りのする街」がありました。抽選に応募して、この素晴らしい見渡せる席をいただきました。「パンの香りのする街」は、会社の社歌で、やなせたかし作詞、いづみたく作曲でした。

この曲から始まりました。素晴らしい音楽を聞かせていただき、アンデルセンを好きになりました。



9月の満月、皆既月食の翌日8日の十六夜の月です。赤銅色でほとんど満月でした。左手には鵜飼い遊覧船乗船場が明るく見えます。10日で鵜舟は終了でした。最終日に青森から来られた棟方志功記念館元館長さんが三次の鵜舟を楽しまれたそうです。大雨の後で乗船場での鵜飼いだったのでしょうか？中止でなくて良かった。

### 三次中央病院 合併後 初の赤字

9月18日の中国新聞県北版には  
大きな活字が踊っていました。

7億2300万円の赤字 収入減や人件費増で。  
本年2月の市議会定例会の冒頭に市長さんが建設計画を一度立ち止まると言っていた時は、4億2800万円の赤字予測だったが、さらに3億円の赤字が増えてしまった。

9月17日の市議会予算決算委員会に向けて7億2300万円の赤字と判明したそうです。やはり大赤字。2022年度は1400万円の黒字となっていたが、新型コロナ感染症関連補助金を何億円も交付されていたので隠れていた。20年度6億1000万円、21年度8億100万円の黒字も2019年度が1億300万円の黒字だったことを考えれば明らか。補助金が5億円以上來ていたのでしょうか。市民病院部も把握していたはずです。もともと赤字体質になっていたのですね。もっと早く後期高齢者減少時代に合った地域の中核的な病院を目指していたら良かった。医療センターとの連携も強めてほしい。コロナ禍で大変な時期でした。患者数も減少し、入院患者

さんも最も少ない時は 200 人位だったでしょうか？

一方、JR 広島駅北口に広島県が計画している新病院建設は、働き方改革などで長時間労働を求められなくなり、人手不足が進み人件費の高騰、建築資材の高騰、医療機器の高騰などで建設予算の見直しを余儀なくされてきた。

入院需要が減少傾向にあり、1000 床の病床数を開院時 860 床になると決定。1000 床まで拡張可能な構造とすると。減少するならば無駄になりそう。元の JR 病院を立体駐車場にする計画は止め、医療提供施設として利用すると発表。発想が迷走気味かと心配されます。予算の 1300 億円～1400 億円を 1330 億円～1460 億円に増額。ベッド 1 床あたりの病院建設単価が 1.3 億円から 1.7 億円と約 1.3 倍を見込まれた。市立三次中央病院も 250 床を 200 床にダウンサイジングし、7 階建てを 6 階建てには出来ないでしょうか？先延ばしをしても建築費は安くはないそうにないこと。設備が新しくならないとローテーションで広島大学などから派遣されて来る先生が来なくなるばかりか、現在いる先生も転出されるかもしれません。寄付金や補助金は・・・

もともと日本にはタバコは無かったのじゃ。禁煙紙芝居のなかのひとコマ。おなじみの物怪物語の主人公・平太郎を諭す山本五郎左衛門が登場し物語が始まります。

3月26日（水）18時台のNHKお好みワイドひろしまという番組の“みつけ”というコーナーで長年紙芝居を作り続ける三次市の男性・行政豊彦さんが紹介されました。紙芝居の物語のストーリーを考えようと三次の妖怪博物館で、ある人と落ち合ってアイデアを出し合うという想定で、私たちが取材されたものを上手につなげられてこの番組を作られました。最近取り組んでいる作品として禁煙・受動喫煙防止紙芝居の取り組みを紹介していただきました。

“三次きんさい祭”に間に合うようにと7月上旬に書きあげていただいた紙芝居です。中央に物怪の頭山本五郎左衛門と主人公の稻生平太郎、そしてタバコ退散のお札。

平太郎を脅かしに来る物怪はタバコを吸い過ぎて苦しむ姿で登場。こうなってしまうぞ！タバコを吸えば苦しむぞ と平太郎に近づいてきます。危うし平太郎。COPD（慢性閉塞性肺疾患）で苦しむ漬物石、ポイ捨てされたタバコの吸い殻を誤食させられ死んだヒキガエルの子どもの母親ヒキガエル、両親がタバコを吸い過ぎるので受動喫煙から友達定八の頭の中に隠れて逃げてきた赤子、森林火災のために丸焼きにされ助けを求める空から落ちてきた鳥などが、平太郎に迫りくる。しかしここで負けじとタバコ退散、受動喫煙退散、サードハンドスマーカー退散と大きな声で呪文を唱えると物怪たちは消えてしまう。何と強力なタバコ対策なのでしょう。そもそも日本にはタバコは無かった代物。子どもの時からタバコなるものの物怪に、たぶらかされる事無きようにと魔王から教えられて、平太郎は「僕、タバコなんて吸わないよ」と、平太郎は友達や大人にもタバコの怖さを広めてくれた。タバコ退散を誓つて めでたしめでたし。こうなってほしい。最初の1本を吸わない、吸わせない教育が大切。

令和の時代に、巴橋の上空から見ている魔王。



8年前の続きで、今回は 270 年程前の寛延 2 年(1749 年)広島藩の三次支藩廃絶後の三次で起った物語、稻生物怪物語を生かして紙芝居を完成させました。その名もモノノケ禁煙物語。三次で活躍されている紙芝居・絵本作家の行政豊彦さんに日本禁煙学会学術総会に向けた紙芝居の制作を相談し、制作を依頼しました。

まだタバコを吸っている者を見つけて「もしもタバコを吸おうとする子どもがあれば、わしのモノノケどもを差し向ける所存」

「子どもに最初の1本を絶対に吸わないように伝えることが、わしの務めじゃからのおハツハッハ」 そう言うと、つむじ風のように魔王は闇に消えてしもうた。

紙芝居の原画制作にとりかかり出した時に、所属する三次中央ロータリークラブの会員に相談したのが良かったのです。

きんさい祭で、中央ロータリーの出し物としてやりんちゃい！ 紙芝居の読み手も皆でやりましょう。チーム紙芝居のLINEメンバーを9人で結成。声の出演を7人で分担。スマホのボイスレコーダーを使ってWEBで4人は参加しセリフの多い3人は事務所に集合して録音。つないでもらって音源をUSBに入れて卓上スピーカーから出せるようにしてもらう。ぜひマスコミにも知らせて報道してもらいましょうと取材依頼を考えもらいました。効果はてきめんと、中国新聞の取材を受けて7月23日（水）県北版に載りアピールが出来ました。



モノノケが出そうな紙芝居小屋を作ってもらい、50名ほどの皆様に見てもらいました。

県医師会禁煙推進委員の先生から、紙芝居を見る前と見た後でタバコについての意見が変わるとアンケートを取りましょうと勧められ、急遽アンケートを可愛くチーム紙芝居のメンバーと作成。

アンケートを34名から回収。小学生13名、中学生5名、高校生4名、20歳以上12名。最年少6歳～最高齢85歳。

紙芝居みよしモノノケ物語/アンケートのお問い合わせ		
（ ）歳（ ）年生（男姓・女性）	（ ）歳（ ）年生（男姓・女性）	（ ）歳（ ）年生（男姓・女性）
①三次のものけ物語を知っていますか？ はい いいえ わからない		
②タバコは体や健康に悪いと思いますか？ はい いいえ わからない		
③火のついたタバコから出る煙を吸うことも体や健康に悪いと思いますか？ はい いいえ わからない		
④火を使わないタバコ（新型・加熱式タバコ）があるのを知っていますか？ はい いいえ わからない		
⑤タバコの煙が服や髪の毛、家のカーテンやジュウタンなどに付くのも健康に悪いと思いますか？ はい いいえ わからない		
⑥20歳以上になったらタバコを吸うと思いますか？ はい いいえ わからない		

最初に、三次のモノノケ物語を知っていますかと聞きました。かなりの子どもは知っていると思っていました。ところが知っているのは、小学生1名、中学生2名、高校生1名で、子ども22名中4名で18%でした。大人は12名中9名で75%でした。子どもが三次のモノノケ物語を知らないのに皆ショックを受けました。

タバコを吸っているのは大人2名。

20歳以上になったらタバコを吸うと思う子どもが小学生に3名いましたが、紙芝居を見た後では1名は吸わないとなり、なぜか違う小学5年生が吸うと思うとなりました。中学・高校生には思う子どもはいませんでした。

小学生では1年生から5年生13名の返答を得て分析しました。②タバコは体や健康に悪いと思いますか？ 思う12名、小学3年生女子1名分からない。④火を使わないタバコ（新型・加熱式タバコ）があるのを知っていますか？ 知っている5名、知っていない6名、分からぬ2名。新型・加熱式タバコについては、どのようなものなのか一緒に考える必要性を強く知らされました。⑤タバコの煙が、服や髪の毛、家のカーテンやジュウタンなどに付くのも健康に悪いと思いますか？ 3次喫煙・サードハンドスモークには、認識あり11名、分からぬ2名。タバコの煙による臭いには悪いと思っていました。⑥20歳以上になったらタバコを吸うと思いますか？ イエ9名、分からぬ1名、ハイと答えたのが、紙芝居を見る前3名、小3

女子1名と小4男子2名で、見た後3名、小4男子1名は吸わないとなったが、小5男子が吸うとなった。小学3年や4年、5年生で、**20歳以上になつたらタバコを吸うかもしれないという子どもが13名中4名、約30%と多く見られました。**

市の教育委員会教育長らと健康推進課課長らにアンケートの結果を報告し協議させてもらいました。新型・加熱式タバコや、サードハンドスモークについての教育が、三次市採用の教科書ではされてないことが判明。授業は、担任の先生がしているとのこと。喫煙をすすめられた時の断り方も記載がありません。文部科学省では断り方を学びましょうとWEBで示唆しています。(最近WEBを見ていると2005年ごろにはタバコをすすめられても断る方法を覚える授業もあったと知りました。) 10月20日に教育委員会での面談で、**断り方も考えていると判明し一安心しました。**「飲酒の害と健康」という次の単元がありました。喫煙や飲酒を誘われたらというコーナーに「どのようにして断つたらよいか、考えてみましょう。」子ども同士で意見を出し合えるものでした。現在小学6年生の12月に禁煙教育が行われていますが遅すぎであり、喫煙防止について内容を検討し、小学5年など早期に行う必要性を確認しました。

子どもたちは、保護者をはじめいろいろな大人の中で育ちます。大人のする事に興味を持ちます。きょうだいや先輩から影響を受けます。

稻生平太郎が、紙芝居の中で平賀源内のキセルを吸う姿に興味を見せるように、煙を吸ったり吐いたりすることを不思議に思う事でしょう。

2005年の報告ですが、第7章喫煙、飲酒、薬物乱用に関する資料(平成10年1月15日 第45巻 日本公衛誌 第1号)の報告では、小学生の喫煙経験率は保護者やきょうだい、親しい友人が喫煙していると1人1点として計算すると、関係者が3点以上では男子66.7% 女子50.0%となり、過半数が喫煙を経験していました。

驚いてしまう結果です。周囲にいる喫煙者の影響を当然のように受けやすいのです。

健康推進活動を進め、喫煙者を少なくすること

が大切と報告しました。

小学校4~5年生に、まず興味を持たないよう紙芝居を使って、『最初の1本を絶対吸わない子ども』になるように取り組んでいきたいと考えます。一度吸いだしたタバコを吸わなくさせるのは、非常に困難で大変ですから。

教育委員会と健康推進課の連携協力により、小学6年生で行われている禁煙教育をより活性化することになりました。

9月18日(木)広島県医師会で第20回日本禁煙学会学術総会第3回実行委員会が開かれました。10名(WEB 3名)の参加で午後7時から行われました。9月から来年10月までのスケジュールが提案され承認されました。11月29日30日に埼玉県大宮市で行われる第19回大会に向けての準備。広島大会を大いにアピールし参加者を増やすことを目指す活動。来年の学会ポスターやホームページ、抄録集の表紙に使うメインビジュアルを4種類の案の中から決めました。世界禁煙週間中イエローグリーンでライトアップしたエディオンピースウイング広島の夜景写真をメインにした素敵な案になりました。

11月の大宮学会での演題は、ピースウイングとカープ球場の敷地内禁煙化を進める活動報告。そして私たちの みよしモノノケ禁煙物語でタバコを1本も吸わない、吸わせない試みを始めた報告の2題で応募し採用されました。

来年の広島大会では、広島からもっと多くの演題が期待されます。三次地区医師会からもぜひ演題を出してみましょう、お願いいたします。

広島大会の時に、お好み村近くのパルコ横アリスガーデンから本通りを歩き、原爆ドームまでのスマートフリー・ウォークをしたいと提案しています。いまだに実現しないピースウイングとカープ球場の敷地内禁煙化を求める活動のゴールを目指したい。両スタジアム内の敷地内禁煙化の署名活動が必要になります。三次地区医師会を始め県医師会の皆様のご協力を頂ける活動に膨らませていけたらと思います。

スマートフリー・ウォークが、敷地内禁煙化実現できた報告ウォークになりますように!!

## 会 員 紹 介



市立三次中央病院 呼吸器内科

二宮 昌彦

この度、市立三次中央病院で呼吸器内科医として勤務することになりました。医師3年目の二宮昌彦です。

私は広島大学医学部を卒業し、そのまま広島大学病院で研修医時代を過ごしたのですが、稀な症例や最先端の医学を学ぶ中で、基本的なcommon diseaseに対する知識が他院の研修医と比べ圧倒的に足りていないと感じるようになりました。そこで、入局にあたって後期研修では、まず専門科目にかかわらず幅広く内科の疾患を経験したいと考えておりました。

呼吸器内科では入局順で後期研修を行う病院の希望を出すことができます。私は3番目に入局したため、ほぼどこの希望でも出せる状況でした。後期研修病院の情報を集める中で、やはり各病院良いところ、悪いところの噂は耳にするのですが、市立三次中央病院に関しては研修環境として本当に良い噂しか耳にしなかったため、希望を出し、無事に配属していただきました。

私は広島市内で初期研修を行ったこともあり、いわゆる地域医療に触れる機会がこれまであまりありませんでした。そのため、今後開業医の先生方となるべく連携を取りながら、その中でなるべくご迷惑をおかけしないようにしつつ、三次地区の医療圏を支える一員としての自覚をもって地域医療に貢献していくらと考へています。

研修医のころと違って一気に増えた仕事量に日々追われ、各医療スタッフの方に助けられながら、そしてたびたび叱られながらなんとか普段の診療をこなしている状況ではありますが、私を今まで2か月弱の間育ててくれた、そしてこれから1~2年の間育ててくれるであろう三次という場所に対して少しでも恩返しができるよう日々頑張っていきたいと考えております。

三次地区の先生方にも私の至らなさでご迷惑をおかけしてしまうことがあるかもしれません、できるだけのことを精一杯しながら日々研鑽していこうと考えておりますので、どうかこれから、よろしくお願ひいたします。



## 会 員 紹 介



市立三次中央病院 皮膚科  
宮野音沙也

はじめまして。2025年8月より、三次中央病院で皮膚科医として勤務させていただることになりました、宮野音沙也と申します。

私は市立三次中央病院で生まれ、幼稚園までを三次で過ごしました。幼少期に、現在の電光石火みよしパークのふわふわドームや滑り台、みよし運動公園などで遊んだ記憶があります。小学校入学を機に広島市に引っ越し、大学は広島大学医学部医学科に進学しました。在学中には女子バレーボール部に所属し、部活漬けの日々を送りました。2021年度に卒業し、初期研修はJA尾道総合病院と広島大学病院のたすきがけで行いました。

その中で、皮膚科の「目で見て今の状態が分かり、患者さんと共有しやすい」という特徴に魅力を感じ、治療によって症状が改善し、患者さんの生活の質が向上するという点に大きなやりがいを覚え、皮膚科を志しました。皮膚科は湿疹や蕁麻疹、にきびなど身近な疾患から、自己免疫性疾患や皮膚腫瘍など専門的な領域まで幅広く対応する診療科です。今後は丁寧な問診と診察を中心がけ、患者さん一人ひとりの声に耳を傾けながら、安心して受診していただける診療を目指してまいります。

生まれ育った三次の地で、今度は医師として地域に貢献できることを大変嬉しく思っております。初心を忘れず努力を重ね、信頼される皮膚科医となれるよう努めてまいりますので、至らぬ点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 会 員 異 動

(入 会)	異動元	異動日	備考
市立三次中央病院	丸 谷 凌 平 (広島市立北部医療センター安佐市民病院)	令和7年4月1日)	
市立三次中央病院	石 田 駿 斗 (広島大学病院)	令和7年4月1日)	
市立三次中央病院	宮野音 沙 也 (広島大学病院)	令和7年8月1日)	
市立三次中央病院	藤 野 啓 太 (公立世羅中央病院)	令和7年9月1日)	
市立三次中央病院	西 本 祐 美 (国立病院機構 呉医療センター)	令和7年10月1日)	
市立三次中央病院	山 岡 尚 平 (JA尾道総合病院)	令和7年10月1日)	
(退 会)	異動先	異動日	備考
市立三次中央病院	三 島 寛 人 (広島大学病院)	令和7年3月31日)	
市立三次中央病院	藤 原 敬 士 (広島市民病院)	令和7年3月31日)	
市立三次中央病院	角 悠 司 (JA広島総合病院)	令和7年3月31日)	
市立三次中央病院	松 島 彩 子 (東広島医療センター)	令和7年9月30日)	
市立三次中央病院	迫 口 哲 彦 (さこぐち脳神経外科クリニック)	令和7年9月30日)	
(異 動)	異動先	異動日	備考
市立三次中央病院	瀬 野 康 之 (三次せの泌尿器科)	令和7年5月1日)	新規開業



Healthcare with Precision

### ハイブリッド型電子カルテシステム

※関連特許出願中

**Medicom-HRf**



**◆ 電子カルテに実績あるメディコムのクラウドサービス！**

**MedicomCloud**

メディコムは、  
院内運用とクラウドの  
ハイブリッド運用サービスを提供！

**◆オンライン資格確認もメディコムにお任せ下さい！**

パナソニック製カードリーダーで  
メディコムだけのオールインワン  
方式が可能になります。



Medicom-HRfには医療機器に該当する機能は含まれておりません。

**PHCメディコム株式会社**  
広島営業所 〒733-0002 広島県広島市西区楠木町2-8-7  
TEL:082-239-3366 FAX:082-238-2279

▶ホームページもご覧ください。  
<https://www.phchd.com/jp/phcmn/>  
右記QRコードからもアクセスできます。



## 医師会事業所現況報告

### 医療センター入院実績

(R 7.4～R 7.7)

項目	4月	5月	6月	7月	合計	平均	備考
新 入 院 患 者	76	94	78	82	330	82.5	
内(救急入院)	3	3	3	5	14	3.5	
退 院 患 者	76	92	86	71	325	81.3	
月 末 在 院 患 者	84	86	78	89	337	84.3	
在 院 患 者 延 数	2,615	2,591	2,548	2,702	10,456	2,614.0	
平 均 入 院 患 者 数	87.1	83.5	85.0	87.1	343	85.7	
協 同 指 導 回 数	0	0	0	0	0	0.0	
実 働 病 床 利 用 率	88.0	83.9	85.8	88.0	-	86.4	
検査外来患者数	1,092	969	969	1,019	4,049	1,012.3	
そ の 他 (ドック)	314	366	388	340	1,408	352.0	

### 三次市休日夜間急患センター外来実績

(R 7.4～R 7.7)

市 町	4月	5月	6月	7月	合計	平均	備考
旧 三 次 市	37	54	49	71	211	52.8	
吉 舎 町	7	6	3	5	21	5.3	
三 和 町	2	3	3	3	11	2.8	
三 良 坂 町	2	2	4	7	15	3.8	
君 田 町	1	2	2	5	10	2.5	
布 野 町	4	0	1	4	9	2.3	
作 木 町	0	1	1	4	6	1.5	
甲 奴 町	0	1	1	1	3	0.8	
そ の 他	3	10	5	6	24	6.0	
合 計	56	79	69	106	310	77.5	

# 医師会日誌

令和7年4月1日～令和7年7月31日

4.1	• 三次地区医師会 入社式 (医師会多目的室)	講師 市立三次中央病院 循環器内科医長 豊福 守 先生 (三次市民ホールきりり)
4.9	• 広島県医師会理事会 (広島県医師会館 / WEB)	• 広島県医師会理事会 (広島県医師会館 / WEB)
4.22	• 執行部会 (医師会多目的室)	6.3
	• 市郡地区医師会長会議 (広島県医師会館)	6.4
4.23	• 執行部会 (医師会多目的室)	• 令和6年度 第13回三次地区医師会定時総会 (三次グランドホテル)
5.7	• 執行部会 (医師会多目的室)	
5.12	• 急患センターWG (医師会多目的室)	6.6
	• 運営委員会 (医師会多目的室)	6.8
5.13	• 広島県医師会理事会 (広島県医師会館 / WEB)	6.11
5.14	• 監事会 (医師会多目的室)	6.12
	• 理事会 ・ 三次市からの報告事項 ・ 令和6年度三次地区医師会決算報告 ・ もみじ銀行からの借り入れについて ・ 三次せの泌尿器科の開業について 他 (医師会多目的室)	6.18
	• 広島医学会総会第1回準備委員会 (広島県医師会館)	6.19
5.15	• 三次地区医師会 歓迎会 (三次ワイナリー)	6.21
5.21	• 市郡地区医師会長会議 (広島県医師会館 / WEB)	6.22
5.22	• 備北地対協理事会 (三次グランドホテル)	
5.28	• 執行部会 (医師会多目的室) • 市郡地区医師会災害医療担当理事 連絡協議会 (広島県医師会館 / WEB)	6.25
5.29	⑩学術講演会 演題「心腎代謝関連へのアプローチ 最近の治療の進歩」	6.26
	• 三次地区医師会 カープ観戦ツアー (マツダスタジアム)	7.1
	• 執行部会 (医師会多目的室)	7.11
	• 備北メディカルネットワーク定時総会 (医師会多目的室)	
	• 三次市四病院連絡協議会総会 (三次ワイナリー)	
	• 広島県医師会理事会 (広島県医師会館 / WEB)	
	⑩学術講演会 演題「医療関係者における ワクチン接種の重要性 ～次世代mRNAワクチンへの 期待も込めて～」	

- 講師 学校法人  
 聖マリアンヌ医科大学  
 感染症学講座  
 主任教授 國島広之 先生  
 (十日市きんさいセンター / WEB)
- 市郡地区医師会長等連絡会 /  
 市郡地区医師会事務局連絡会  
 (広島県医師会館)
- 7.14 ④学術講演会  
 演題1「細胞内代謝がもたらす  
 エピゲノム制御による  
 脂肪細胞の熱産生  
 メカニズムの解明」
- 講師 市立三次中央病院  
 糖尿病・代謝内分泌内科  
 医長 佐川純司 先生  
 演題2「新時代の肥満・  
 2型糖尿病治療」
- 講師 広島大学  
 内分泌・糖尿病内科  
 助教 長野 学 先生  
 (三次グランドホテル / WEB)
- 7.16 • 理事会  
 • 役員分掌について  
 • 膵臓がん早期発見プロジェクトに  
 ついて 他  
 (医師会多目的室)
- 7.19 • 多職種連携研修会  
 (庄原グランドホテル)
- 7.24 備北地区漢方ウェビナー  
 ④学術講演会  
 演題「訪問・施設・在宅医療に  
 役立つサイエンス漢方処方」
- 講師 日高徳洲会病院  
 病院長 井齋偉也 先生  
 (市立三次中央病院 / WEB)
- 広島県国保組合総会  
 (リーガロイヤルホテル広島)

## 原稿募集

下記要領により公募しますので、ご投稿をお待ちします。原稿締切り日はありません。

### 記

#### 「論 壇」

2,000字程度。題目自由。紙上匿名不可。

#### 「私の主張」「私の趣味」

2,000字程度。紙上匿名不可。但し原稿に氏名の明記のない場合は断わります。

#### 「文芸・芸術作品」

随筆、短歌、俳句、絵画、書、写真など。  
 400字程度 (本号1頁掲載範囲)

#### 「採 否」

制限字数過多あるいは執行部個人や会員個人を誹謗したり、内容が本紙にそぐわない場合、巴杏編集委員会で審査の上、返却することもあります。

※ファックス伝言板にも奮って投稿願います。

## 編 集 後 記

10月に入り、朝晩は大分過ごしやすくなりましたが、日中はまだ気温の高い日が続いています。

さて、「巴杏」184号をお届けいたします。

特別寄稿として三次市長の福岡誠志様より三次市の医療・福祉分野での政策についてご寄稿いただきました。東西南北では奥田元宋・小由女美術館の槇本良二様より寄稿していただきました。その他、多くの諸先生からの寄稿をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、世界的なインフレ、円安等により物価高騰しております、我々医療機関も、光熱費・医療材料費・人件費など、あらゆるコストの上昇に直面しています。次期診療報酬改定にて対応をお願いしたい思いです。

箕岡 康明

### (編集委員)

栗本 清伸 安藤 仁  
加美川 誠 須澤 利文  
箕岡 康明 松尾洋一郎  
久行 敦士 高場 敦久  
立本 直邦

発 行／一般社団法人 三次地区医師会

発行日／令 和 7 年 11 月

印 刷／株 式 会 社 菁 文 社



さいけいそうそう  
**彩溪淙々**

制 作 年：1994（平成6）年 改組第26回日展

材質・形状：紙本彩色・額装

サ イ ズ：178.0cm×221.0cm

奥田元宋・小由女美術館 所蔵

奥入瀬渓谷の秋を描いた作品。奥田元宋は奥入瀬を格別に好み「新緑や紅葉の時期になると、体がうずうずしてくる」ようであったといいます。特に秋の奥入瀬には格別な想いを抱いていたようで、寒さが急激に訪れる奥入瀬の木々が一斉に赤や黄色に染まり、あっという間に終わるその美しさを写生するためにか「10月下旬から11月初めにかけて、私はいつも忙しい」と述べています。その感動が画面に塗りこめられたような色とりどりの紅葉の間を、豊かな水をたたえた渓流が岩にぶつかりながらうねる姿は躍动感にあふれています。見つめていると今にも水が動き出しそうに感じられ、「流れを描くのが好き」と語っていた元宋のこだわりが見て取れます。

